

# 形成外科学 〈D3, 4, 11, 13, 14〉

## オーガナイザー

形成外科学 教授 朝村 真一

## 教員名

教授 朝村真一、准教授 和田仁孝、助教 橘五月、助教 上野一樹

## I 一般学習目標

形成外科学総論および各論の知識をもとに、外傷、腫瘍、先天異常による欠損や変形の病態を理解し、医療の中における形成外科学の役割を学ぶ。

## II 個別学習目標

- (1) 形成外科の定義および対象疾患を述べることができる。
- (2) 形成外科と美容外科の違いを説明できる。
- (3) 皮膚の断面構造を図示できる。
- (4) 血行形態による皮弁分類を図示できる。
- (5) 創傷の治癒過程を説明できる。
- (6) 手術手技である縫合法、Z形成術、W形成術について説明できる。
- (7) 急性外傷性疾患（顔面・手外傷、熱傷）のプライマリーケアを説明できる。
- (8) 慢性潰瘍性疾患（難治性下腿潰瘍、褥瘡、虚血性下肢、リンパ浮腫）のプライマリーケアを説明できる。
- (9) 組織移植術について述べることができる。
- (10) マイクロサージャリー（微小血管外科）について述べることができる。
- (11) クラニオフェーシャルサージャリー（頭蓋顔面外科）について述べることができる。
- (12) 先天異常の用語と定義を述べることができる。
- (13) 形成外科と再生医療（組織工学）について説明できる。

## III 教育内容

- (1) 形成外科の治療は創傷治癒のメカニズムや解剖に基いていることを学ぶ
- (2) 手術は、創造性が重要であることを学ぶ。
- (3) 再建法の基礎である組織の血行動態および、皮膚・軟骨・骨の創傷治癒過程について理解する。
- (4) 代表的疾患について、それらのX線、CT、MRI、エコーの所見が述べられるようにする。
- (5) 講義で提示する疾患(病態・手術時期・手術解剖・再建術式・周術期管理・術後合併症)について理解する。
- (6) 各臨床教室との合同カンファレンスに参加する。

## IV 講義項目と担当者

形成外科学総論	教授	朝村真一
創傷治癒、急性・慢性創傷	准教授	和田仁孝
再建外科、微小血管外科	助教	橘五月
先天異常、頭蓋顔面外科	助教	上野一樹
形成外科手技、リンパ浮腫	学内助教	久米川真治
美容医療	非常勤医師	白川裕二
再生医療	近畿大学形成外科教授	磯貝典孝

## VI 評価の方法

定期試験を設けないため、各講義内に小テストを行い、出席と併せて評価する。

## V 推薦する参考書

標準形成外科学第6版	医学書院	本体	5,800円
形成外科学第2版	南山堂	本体	6,000円

# 講義日程表

形成外科学

No.	月日	曜日	時限	項 目	担 当 科	担当
1	R3.10.12	(火)	4	形成外科総論	形成外科	朝村
2	R3.10.12	(火)	5	創傷治癒,急性・慢性創傷	形成外科	和田
3	R3.10.26	(火)	4	再建外科,微小血管外科	形成外科	橘
4	R3.10.26	(火)	5	先天異常,頭蓋顎顔面外科	形成外科	上野
5	R3.10.29	(金)	4	形成外科手技,リンパ浮腫	形成外科	久米川
6	R3.10.29	(金)	5	美容医療	形成外科	白川
7	R3.11.2	(火)	4	再生医療	形成外科	磯貝